学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 日本史Ａ 新訂版　（清水書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の中の日本という視点で国際関係を理解しながら、近現代の日本の在り方を考える。
・歴史的事象を総合的に理解するために、その時代背景を踏まえ年代ごとに総合的にとらえる。
・近現代の日本の社会や国民の生活・文化に関心を持ち、あるべき姿を考える。

２　学習の到達目標

・統計や諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・我が国の近現代の歴史を国際環境と関連付けながら理解し、国際社会で主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養い、国際的な考えを身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的･多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり統計や図表、地図などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	課題レポート 授業態度 出席状況	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	近代の日本と世界	明治維新と近代国家の形成	・国際情勢の変化とﾍﾟﾘｰの来航 ・開国と国内秩序の混乱 ・幕末の政治情勢 ・明治政府の成立 ・近代化政策の展開 ・文明開化と民衆 ・新政府の国際承認	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:近代国家の形成と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を収集している。 d:幕末の政治・国際情勢、新政府の成立と近代化などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況
		立憲政体の成立と国際的地位の向上	・自由民権運動と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化 ・立憲体制の確立 ・初期議会と条約改正 ・日清戦争と日露戦争 ・植民地経営と近代産業の発展	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:立憲政体の成立と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:立憲政体の成立と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:立憲政体の成立と社会や文化の特色に関する諸資料を収集している。 d:自由民権運動の展開と松方財政、立憲政体の確立と条約改正、日清戦争と日露戦争などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況

後期	大戦期の世界と日本	第一次世界大戦と日本	・護憲運動と大正デモクラシー ・第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 ・ヴェルサイユ講和とワシントン体制 ・政党政治の展開と社会運動の高まり	○ ○	○	○	○	a:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集している。 d:大正デモクラシーと政党政治、第一次世界大戦への参戦とワシントン体制などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況
		第二次世界大戦と日本	・協調外交と金融恐慌 ・世界恐慌と昭和恐慌 ・満州事変と国連脱退 ・二･二六事件と日中戦争 ・第二次世界大戦の勃発と日本 ・アジア太平洋戦争の勃発と日本の敗戦	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集している。 d:昭和期の恐慌と協調外交の破綻、15 年戦争と日本の国際的孤立などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況

	現代の世界と日本	戦後政治の動向と国際社会	・1950 年までの日本と世界 ・1950 年代～1980 年代の日本と世界 ・1990 年代以降の日本と世界	○	○	○ ○	○ ○	a:現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:現代の社会や国民生活の特色から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代の社会や国民生活の特色についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識･理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。